

北栄町議会議長 青亀 恵一様

委員会名（総務常任委員会）  
北栄町議会議員 長谷川 昭二

平成25年北栄町議会調査研究視察研修報告書

1. 日時	平成25年7月31日～8月2日 2泊3日
2. 調査地	7月31日 長崎市 →8月1日佐賀市 →8月2日呉市
3. 調査内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・(長崎市)老朽危険空き家対策について</li><li>・(佐賀市)街なか再生社会実験 「わいわい!!コンテナ」プロジェクトについて</li><li>・(呉市) 空き家対策の取り組みについて</li></ul>
4. 意見感想	<p>(長崎市の老朽危険空き家対策事業の取り組みについて) 危険家屋を撤去し、更地にするだけではなく、防災と言う観点からも、生活通路の安全性を確保している点や関係自治会と連携して更地の維持管理、地域の交流の場として活用されていることも、よく考えられていて参考にあるものでした。</p> <p>ただ、土地や建物を寄付することで市が危険家屋の撤去を行う場合に市税の完納条件がある点は、危険家屋の解消という目的達成を妨げる可能性もあるので、検討が必要と思われる。</p> <p>(呉市の空き家対策の取り組みについて) 「平成24年度末までに老朽家屋に関する相談が229件寄せられ、そのうち、改善（解体または応急措置）された件数は117件と半数しか改善されていない。」との説明であったが、市民からの相談に実質的成果でこたえている姿勢は見習うべきものがあると感じました。</p> <p>長崎市・呉市のどちらも、市民の安全な生活環境を守るという位置づけが明確に打ち出されていて、市民からの相談に真剣にこたえる取り組みを行っている。ただ、両市とも個人住宅のみを対象としているもので、本町においては事業所後についても問題解決が迫られています。早急に現</p>

実的対応も含め、問題解消に取り組み必要があると感じました。

(佐賀市の「いわい!!コンテナプロジェクト」の取り組みについて)

街なかに増え続ける空き地を借りて中古コンテナを置き、身に図書館にして、世代を問わず市民の交流（憩い）も場を提供している。それだけでなく、コンテナの貸し店舗もおかれていて、店舗経営の経験を積む場としても活用されている。ここで経験をつんだ人が空き店舗などで本格的に開業している。その間のサポートもしっかり行われている。このプロジェクトでは、仮設建物である中古コンテナの活用や手作りで芝生を張るなど、財政的にも無理をしないで、市民と一緒に取り組んでいることが注目すべき点ではないかと思います。